

**平成21年度  
愛知県歯科医療機能連携実態調査  
結果報告書（修正版）**

平成22年6月



# 目次

## I 調査の概要

1	調査の目的	1
2	調査の実施主体	1
3	調査の対象	1
4	調査の時期	1
5	調査の方法	1
6	調査の内容	1
7	回収の結果	1

## II 歯科診療所調査の結果

1	従事者等	2
2	診療・設備体制等	3
3	在宅歯科医療サービス、支援等の実施状況	4
4	保健事業等の実施状況	5
5	電子システムの整備状況	5
6	医療連携体制の状況	6
7	その他	7

## III 病院調査の結果

1	「歯科・歯科口腔外科」の有無	8
2	糖尿病 <u>教育入院時</u> における歯周病教育の実施状況	8
3	糖尿病 <u>教育外来時</u> における歯周病教育の実施状況	9
4	歯周病に関する問診項目の有無	10
5	合併症管理・重症化予防における歯科診療所との連携状況	11

## IV 調査票

1	歯科診療所調査票	12
2	病院調査票	16

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

平成 22 年度に見直し予定である「愛知県地域保健医療計画」及び「健康日本 21 あいち計画」策定にあたり、歯科医療関係者の病診連携及び診診連携に関する実態を把握するとともに、地域における歯科医療機能の充実及び連携体制の整備を図るための基礎資料とする。

## 2 調査の実施主体

愛知県

## 3 調査の対象

### (1) 歯科診療所調査

平成 21 年 10 月 1 日現在で開設されている歯科診療所とする。

対象施設数 3,656 施設（名古屋市・中核市を含む）

### (2) 病院調査

愛知県医療情報公表システムにおいて、「内分泌・代謝・栄養領域」の疾病・治療内容に対応することができる施設として抽出された、2 型糖尿病の治療を実施している病院とする。

対象施設数 228 施設（名古屋市・中核市を含む）

## 4 調査の時期

平成 22 年 2 月

## 5 調査の方法

郵送配布、郵送回収

## 6 調査の内容

### (1) 歯科診療所調査

歯科診療所における従事者数等、診療・設備体制等、在宅歯科医療サービス・支援等の実施状況、保健事業等の実施状況、電子システムの整備状況、医療連携体制の状況等

### (2) 病院調査

糖尿病教育入院・教育外来時における歯周病に関する教育の実施状況、病診連携の状況等

## 7 回収の結果

### (1) 歯科診療所調査

対象施設数 3,656 施設、回収数 2,333 施設（回収率 63.8%）

### (2) 病院調査

対象施設数 228 施設、回収数 192 施設（回収率 84.2%）

## Ⅱ 歯科診療所調査の結果

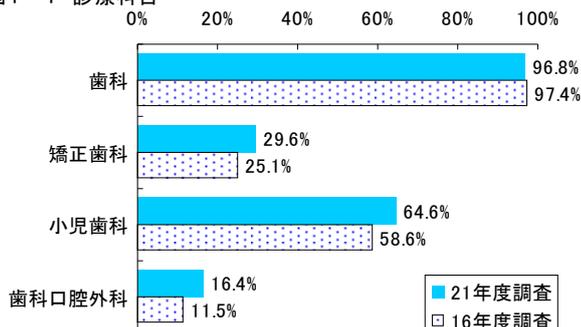
### 1 従事者等

診療科目では、「歯科」が2,258施設(96.8%)と最も多く、「小児歯科」1,506施設(64.6%)、「矯正歯科」690施設(29.6%)、「歯科口腔外科」383施設(16.4%)の順であった。平成16年度愛知県医療実態調査(以下「前回調査」という。)と比べ、「小児歯科」「矯正歯科」「歯科口腔外科」は増加した。

表1-1 診療科目

	回答数	割合
歯科	2,258	96.8%
矯正歯科	690	29.6%
小児歯科	1,506	64.6%
歯科口腔外科	383	16.4%
(施設数)	2,333	100.0%

図1-1 診療科目



従事者では、「歯科医師」は施設あたり常勤1.21人(非常勤0.46人)であった。「歯科衛生士」は同様に0.89人(0.53人)、「歯科技工士」0.15人(0.03人)、「歯科業務補助者」1.51人(1.05人)、「事務職」0.32人(0.20人)であった。

前回調査と比べると、「歯科衛生士」は常勤・非常勤ともに増加した。

表1-2 従事者

	常勤		非常勤	
	回答数	施設あたり 人数	回答数	施設あたり 人数
歯科医師	2,814	1.21	1,074	0.46
歯科衛生士	2,070	0.89	1,226	0.53
歯科技工士	344	0.15	74	0.03
歯科業務補助	3,520	1.51	2,457	1.05
事務職	741	0.32	459	0.20
その他	74	0.03	86	0.04

図1-2 施設あたりの従事者数(常勤)

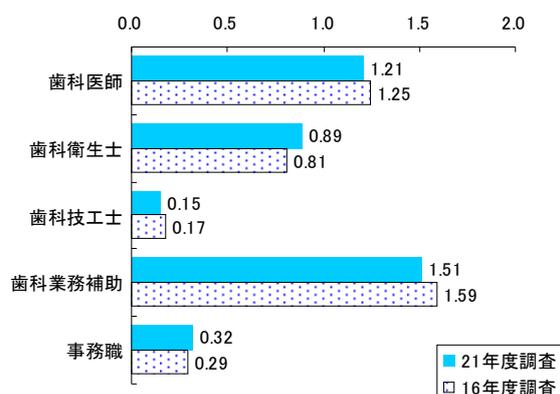
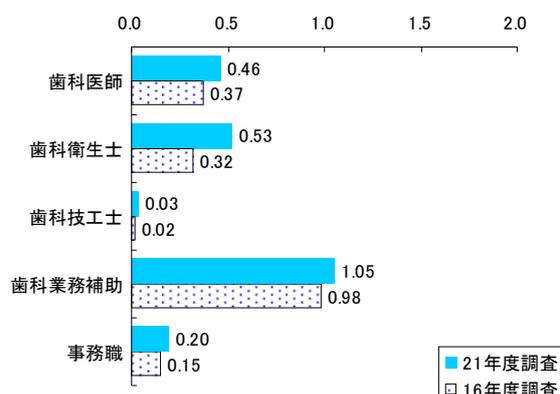


図1-3 施設あたりの従事者数(非常勤)



## 2 診療・設備体制等

初期救急医療体制の参加状況では、「休日等歯科診療所に参加」1,195 施設（51.2%）、「在宅当番医制に参加」2667 施設（11.4%）であった。

夜間・休日の救急患者の受入れ状況（自院）では、「夜間」509 施設（21.8%）、「休日」579 施設（24.8%）であった。

他機関への患者の紹介・転送状況では、「他の病院」1,101 施設（47.2%）が最も多く、次に「特定機能病院」1,008 施設（43.2%）、「診療所・歯科診療所」493 施設（21.1%）の順であった。

障害児（者）への治療を行っている歯科診療所は 1,481 施設（63.5%）であった。

インプラント治療を行っている歯科診療所は 846 施設（36.3%）であり、前回調査より 7 ポイント増加した。

感染性廃棄物の処理業務では、2,329 施設（99.8%）で全部あるいは一部委託を行っていた。

院内事故防止マニュアルがある歯科診療所は 2,068 施設（88.6%）、院内感染対策マニュアルがある歯科診療所は 2,106 施設（90.3%）、医療安全管理委員会を設置している歯科診療所は 1,481 施設（63.5%）であった。前回調査より、事故防止マニュアルがある歯科診療所は 36 ポイント、感染対策マニュアルがある歯科診療所は 29 ポイント増加した。

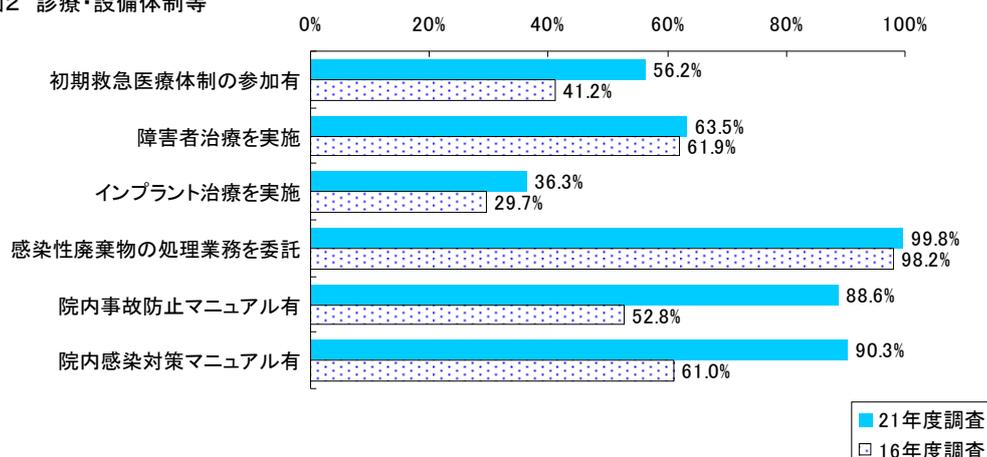
受動喫煙を防止するための措置では、ほとんどの歯科診療所で実施しており、「診療所内禁煙」が 1,326 施設（56.8%）、「敷地内全面禁煙」が 615 施設（26.4%）であった。

表2 診療・設備体制等

	回答項目	回答数	割合
初期救急医療体制の参加状況	1.休日等歯科診療所に参加	1,195	51.2%
	2.在宅当番医制に参加	266	11.4%
	1と2の両方・どちらか参加	1,311	56.2%
夜間・休日の救急患者の受入れ状況(自院)	夜間の受入れ有	509	21.8%
	休日の受入れ有	579	24.8%
他機関への患者の紹介・転送状況(12月中)	特定機能病院	1,008	43.2%
	他の病院	1,101	47.2%
	診療所、歯科診療所	493	21.1%
	市区町村、保健所	9	0.4%
	老人保健施設	10	0.4%
	その他	8	0.3%
障害児(者)の治療	行っている	1,481	63.5%
	他機関へ紹介している	80	3.4%
障害者(児)に対するサービス内容(複数回答可)	手話対応	48	2.1%
	車椅子対応	846	36.3%
	その他	167	7.2%
インプラント治療	行っている	846	36.3%
感染性廃棄物の処理業務	全部委託	1,861	79.8%
	一部委託	9	0.4%
	委託(全部・一部未記入)	362	15.5%
院内事故防止マニュアル	有	2,068	88.6%
院内感染対策マニュアル	有	2,106	90.3%
医療安全管理委員会の設置	有	1,481	63.5%
受動喫煙を防止するための措置	敷地内全面禁煙	615	26.4%
	診療所内禁煙	1,326	56.8%
	分煙	218	9.3%

施設数(2,333)で除して割合を算出、以降の表も同じ。

図2 診療・設備体制等



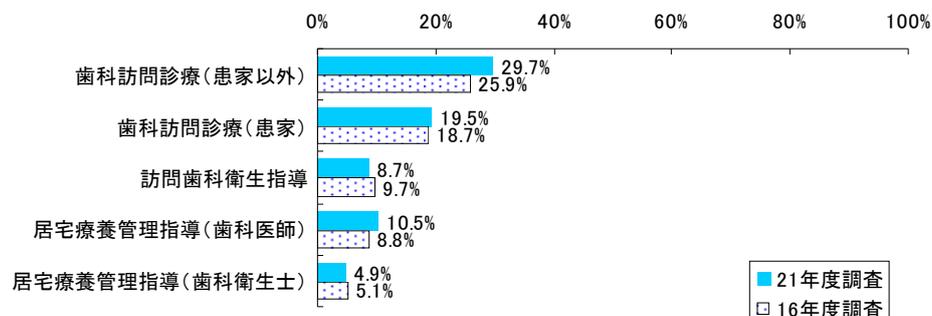
### 3 在宅歯科医療サービス、支援等の実施状況

在宅医療サービス・介護保険サービスを行っている歯科診療所は 964 施設 (41.3%) であった。実施しているサービスでは、「歯科訪問診療 (患者)」693 施設 (29.7%) が最も多く、前回調査より 3 ポイント増加した。一方、歯科衛生士が行う「訪問歯科衛生指導」、「居宅療養管理指導」は実施率が低く、前回調査より減少した。

表3 在宅歯科医療サービス・支援等の実施状況

	回答項目	回答数	割合
在宅医療・介護保険サービスの実施状況	行っている	964	41.3%
歯科訪問診療 (患者)	有	693	29.7%
歯科訪問診療 (患者以外)	有	456	19.5%
訪問歯科衛生指導	有	204	8.7%
居宅療養管理指導 (歯科医師)	有	244	10.5%
居宅療養管理指導 (歯科衛生士)	有	114	4.9%
個別ケース支援、地域ケアに関わる会議参画	有	130	5.6%
認知症患者への対応	有	396	17.0%
緊急性歯科疾患への対応	有	438	18.8%
在宅療養支援歯科診療所の登録	有	175	7.5%

図3 在宅医療サービス・介護保険サービスの内訳



## 4 保健事業等の実施状況

う蝕の予防処置では、「フッ化物歯面塗布」2,109 施設（90.4%）、「小窩裂溝填塞（シーラント）」1,828 施設（78.4%）で実施していた。

歯周病の処置では、「ブラッシング指導」2,233 施設（95.7%）、「歯石除去」2,236 施設（95.8%）、「SRP 及び P-Cure」2,133 施設（91.4%）で実施しており、歯周病の初期治療の実施率は高い結果であった。

自治体が行う事業では、「乳幼児歯科健診等の母子保健事業」1,762 施設（75.5%）、「歯周疾患検診等の成人保健事業」1,523 施設（65.3%）で実施していた。

事業所等の委託健診を行っている歯科診療所は 1,380 施設（59.2%） 保健所・市町村・職域等が実施する健康教育事業を行っている歯科診療所は 1,311 施設（56.2%）であった。

表4 保健事業等の実施状況

	回答項目	回答数	割合
う蝕の予防処置 (複数回答可)	フッ化物歯面塗布	2,109	90.4%
	フッ化物洗口	422	18.1%
	小窩裂溝填塞(シーラント)	1,828	78.4%
歯周病の処置 (複数回答可)	ブラッシング指導	2,233	95.7%
	歯石除去	2,236	95.8%
	SRP・P-Cure	2,133	91.4%
	歯周外科手術	1,249	53.5%
	PMTC	1,396	59.8%
自治体が行う事業 (複数回答可)	母子保健事業	1,762	75.5%
	成人保健事業	1,523	65.3%
	介護予防事業	302	12.9%
事業所等の委託健診	行っている	1,380	59.2%
保健所・市町村・職域等が実施する健康教育事業	行っている	1,311	56.2%

図4-1 う蝕の予防処置

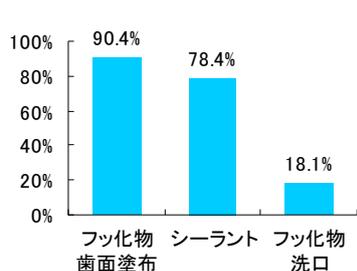


図4-2 歯周病の処置

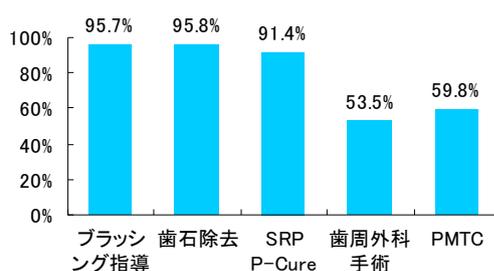
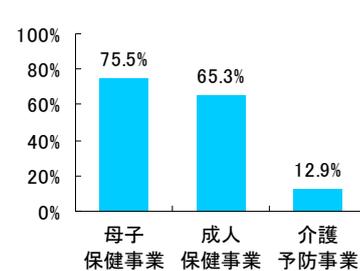


図4-3 自治体が行う事業



## 5 電子システムの整備状況

診療所のホームページを開設している歯科診療所は 737 施設（31.6%）であり、前回調査より 20 ポイント増加した。

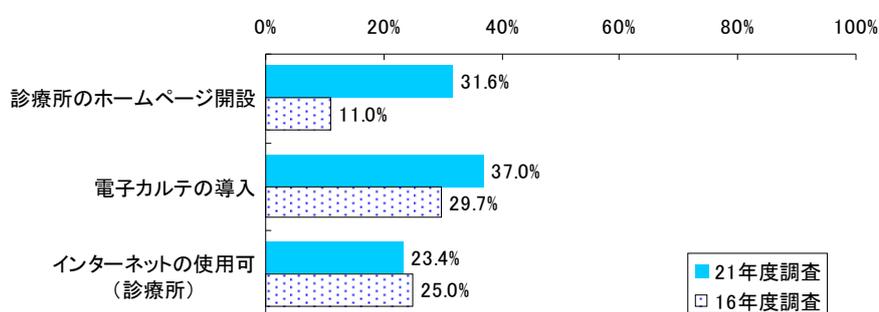
あいち医療情報ネット（愛知県医療機能情報公表システム）での情報公開では、「有」と回答した歯科診療所は 1,208 施設（51.8%）であった。

電子カルテの導入をしている歯科診療所は 863 施設（37.0%）であり、前回調査より 7 ポイント増加した。

表5 電子システムの整備状況

	回答項目	回答数	割合
診療所のホームページ開設	有	737	31.6%
	検討中	345	14.8%
あいち医療情報ネットでの情報公開	有	1,208	51.8%
電子カルテの導入	有	863	37.0%
	検討中	499	21.4%
インターネットの使用	診療所として使用可	545	23.4%
	個人として使用可	1,293	55.4%

図5 電子システムの整備状況



## 6 医療連携体制の状況

医療連携体制の状況では、「がん」「脳卒中」「急性心筋梗塞」「糖尿病」の患者の歯科治療にあたり、医療及び療養支援を行う医療機関との連携がある歯科診療所は、調査対象月間に該当患者がいなかった歯科診療所を含めて、実施率は 40～50%であった。

糖尿病患者に対する歯周治療を行っている歯科診療所は、調査対象月間に該当患者がいなかった歯科診療所を含めて、1,545 施設（66.2%）であった。

表6 医療連携体制の状況

		回答項目	回答数	割合
がん	医療機関との連携	有	207	8.9%
		該当患者なし(月間)	1,015	43.5%
脳卒中	医療機関との連携	有	196	8.4%
		該当患者なし(月間)	977	41.9%
	摂食機能療法の実施	有	55	2.4%
		該当患者なし(月間)	971	41.6%
急性心筋梗塞	医療機関との連携	有	123	5.3%
		該当患者なし(月間)	1,023	43.8%
糖尿病	歯周治療の実施	有	981	42.0%
		該当患者なし(月間)	564	24.2%
	合併症管理のための医療機関との連携	有	151	6.5%
		該当患者なし(月間)	907	38.9%

図6-1 医療連携体制の状況

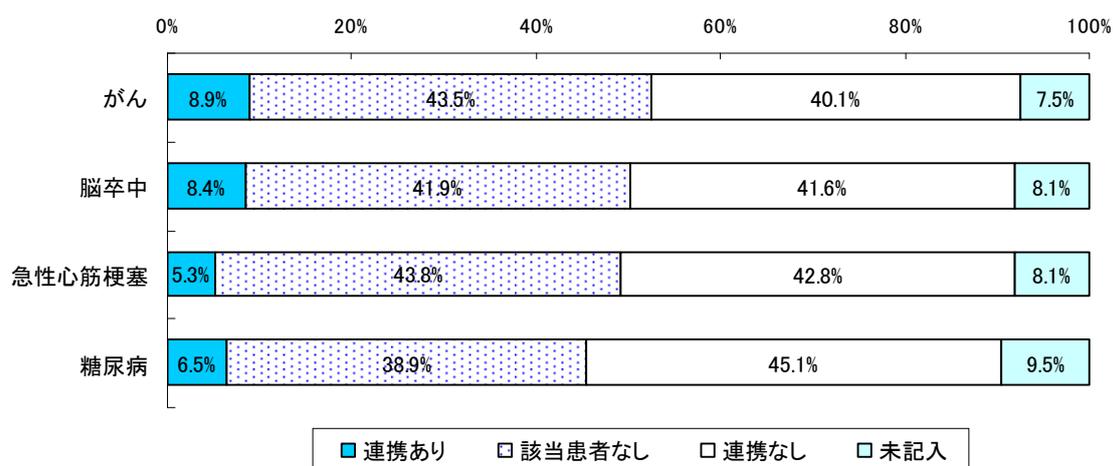
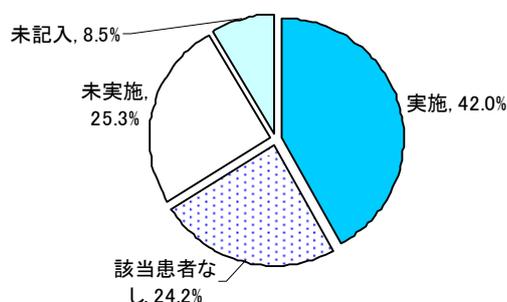


図6-2 糖尿病患者に対する歯周治療



## 7 その他

歯科医師臨床研修施設の指定状況では、「単独型」14施設、「管理型」1施設、「協力型」56施設、「研修協力施設」28施設であり、いずれかの施設として指定されている歯科診療所は99施設（4.2%）であった。

表7 歯科医師臨床研修施設の指定状況

	回答数	割合
単独型臨床研修施設	14	0.6%
管理型臨床研修施設	1	0.0%
協力型臨床研修施設	56	2.4%
研修協力施設	28	1.2%
検討中	219	9.4%

（複数回答あり）

### 【用語の解説】

フッ化物歯面塗布：フッ化物の入った薬剤を歯に直接塗る処置。  
 フッ化物洗口：歯科医師の指導を受け、フッ化物の入った薬剤でブクブクうがいをする方法。  
 小窩裂溝填塞（シーラント）：奥歯の溝を樹脂剤で埋める処置。  
 SRP：スケリングルトブレイニングの略。歯石除去と併せて歯周ポケット内の歯根面を滑沢にする処置。  
 P-Cure：歯周ポケット内の不良組織を搔扱（そうは）する処置。  
 PMTC：プロフェッショナルメカニカルウスクリーニングの略。専門家による機械を用いた歯面清掃。

### Ⅲ 病院調査の結果

#### 1 「歯科・歯科口腔外科」の有無

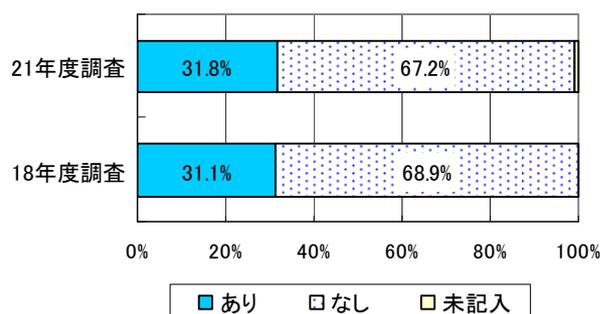
質問1. 貴院の診療科目に「歯科・歯科口腔外科」はありますか。

貴院の診療科目に「歯科・歯科口腔外科」がある病院は61施設(31.8%)であった。平成18年度歯周病対策実態調査(以下「前回調査」という。)とほぼ同じ割合であった。

表1 「歯科・歯科口腔外科」の有無

	あり	なし	未記入	計
回答数	61	129	2	192
割合(%)	31.8%	67.2%	1.0%	100.0%

図1 「歯科・歯科口腔外科」の有無



#### 2 糖尿病 教育入院時 における歯周病教育の実施状況

質問2. 2型糖尿病の教育入院時、歯周病に関する教育をされていますか。

2型糖尿病の教育入院時に歯周病に関する教育を実施している病院は、教育入院未実施施設と未記入を除く97施設のうち、24施設(24.7%)であった。前回調査と比べて若干増加した。教育スタッフの職種は、歯科衛生士が最も多く、次いで看護師、歯科医師、医師、その他(管理栄養士、薬剤師、検査技師等)の順であった。前回調査より歯科衛生士が15ポイント、看護師と歯科医師が約10ポイント増加した。

表2 教育入院時の歯周病教育の実施状況

	あり	なし	教育入院未実施	未記入	計
回答数	24	73	53	42	192
割合(%)	24.7%	75.3%			(実数 97)

図2-1 教育入院時の歯周病教育の実施状況

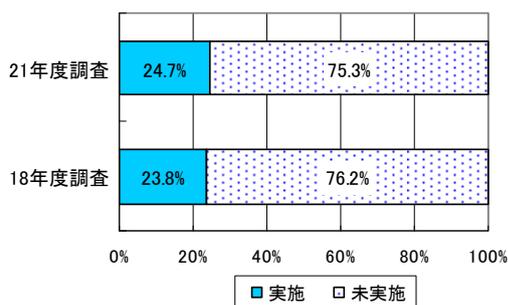
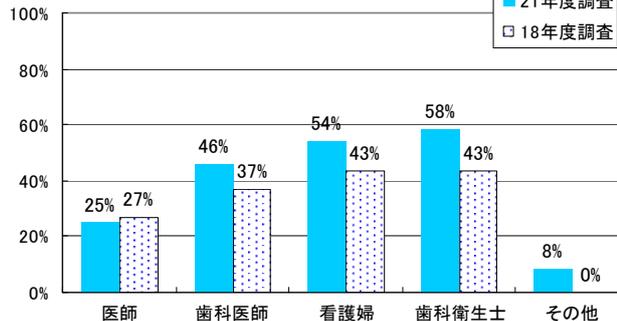


図2-2 教育スタッフの職種(複数回答可)



### 3 糖尿病 教育外来時 における歯周病教育の実施状況

質問3 . 2型糖尿病の教育外来(外来患者対象の教室等)時、歯周病に関する教育をされていますか。

2型糖尿病の教育外来時に歯周病に関する教育を実施している病院は、教育外来未実施施設と未記入を除く88施設のうち、21施設(23.9%)であった。前回調査より4ポイント増加した。教育スタッフの職種は、教育入院時と同様に歯科衛生士が最も多く、次いで看護師、歯科医師、医師、その他(栄養士)の順であった。前回調査より歯科衛生士が18ポイント増加し、医師と歯科医師が24ポイント、11ポイント減少した。

表3 教育外来時の歯周病教育の実施状況

	教育外来時		教育外来未実施	未記入	計
	あり	なし			
回答数	21	67	63	41	192
割合(%)	23.9%	76.1%	(実数 88)		

図3-1 教育外来時の歯周病教育の実施状況

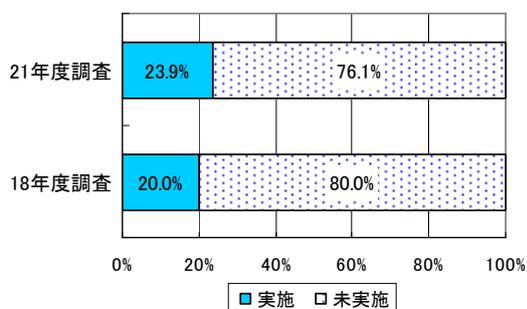
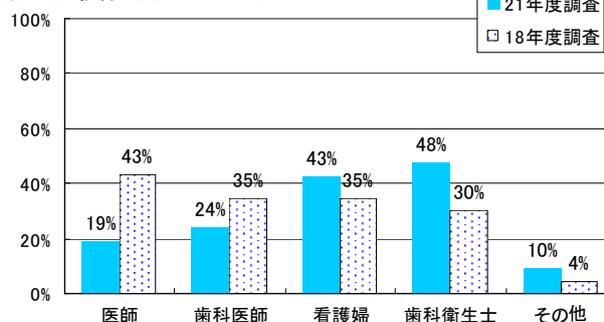


図3-2 教育スタッフの職種(複数回答有)



#### ◆教育入院・教育外来時における歯周病教育の実施状況

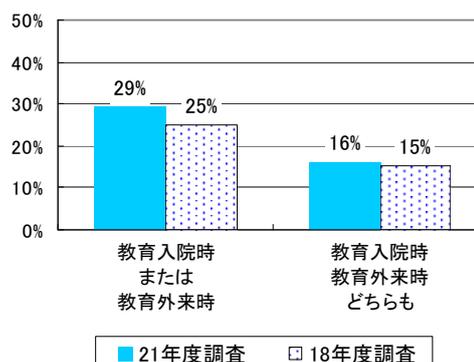
教育入院時または教育外来時における歯周病に関する教育を実施している病院は、教育入院・教育外来未実施施設と未記入を除く99施設のうち、29施設(29.3%)であった。前回調査より4ポイント増加した。

教育入院時・教育外来時どちらも歯周病に関する教育を実施している病院は16施設、教育入院時のみは7施設、教育外来時のみは5施設であった。

表4 教育入院・教育外来時の歯周病教育の実施状況

		教育外来時			教育外来未実施
		実施	未実施	未記入	
教育入院時	実施	16	7	0	1
	未実施	4	59	1	9
	未記入	1	1		
教育入院未実施		0	0		

図4 教育入院・教育外来時の歯周病教育の実施率



## ◆「歯科・口腔外科」の有無による歯周病教育の実施状況

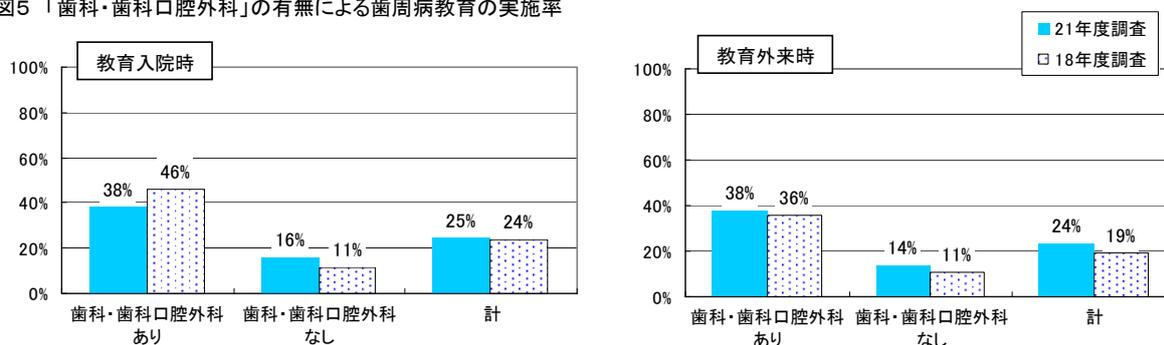
「歯科・口腔外科」がある施設での歯周病に関する教育の実施率は、「歯科・口腔外科」がない病院に比べて高く、教育入院時 38.5%、教育外来時 37.8%であった。前回調査と比べて、「歯科・口腔外科」がある病院の教育入院時における実施率は7ポイント減少した。

表5 「歯科・歯科口腔外科」の有無による歯周病教育の実施状況

	教育入院時				教育外来時			
	実施	未実施	計	実施率(%)	実施	未実施	計	実施率(%)
歯科・歯科口腔外科あり	15	24	39	38.5%	14	23	37	37.8%
歯科・歯科口腔外科なし	9	49	58	15.5%	7	44	51	13.7%
計	24	73	97	24.7%	21	67	88	23.9%

※教育入院または教育外来を実施していない病院を除いて実施率を算出

図5 「歯科・歯科口腔外科」の有無による歯周病教育の実施率



## 4 歯周病に関する問診項目の有無

質問4. 教育入院や教育外来を実施する際の問診票の中に次のような質問項目はありますか。

教育入院時または教育外来時に歯周病に関する教育を実施している29施設のうち、問診票の中に歯周病に関する問診項目があるのは11施設(37.9%)であった。「歯みがき時の出血」「歯ぐきの腫れ」「歯周病の診断経験」「歯の定期健診」「ぐらぐらする歯」の5項目全てあるのは5施設であった。

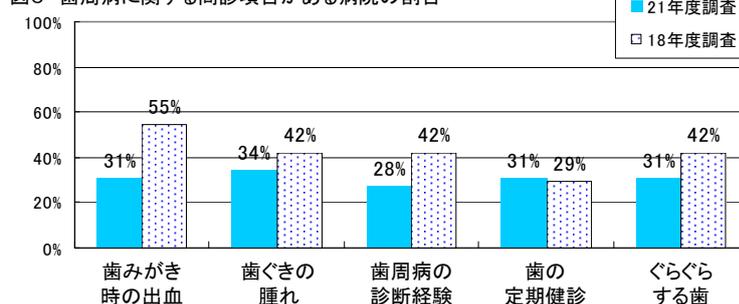
表6 歯周病に関する問診項目がある病院数

	歯周病教育を実施している病院数	問診項目がある病院数	問診項目				
			歯みがき時の出血	歯ぐきの腫れ	歯周病の診断経験	歯の定期健診	ぐらぐらする歯
回答数	29	11	9	10	8	9	9
割合(%)		37.9%	31.0%	34.5%	27.6%	31.0%	31.0%

表7 歯周病に関する問診項目数

項目数	回答数	割合(%)
なし	18	62.1%
1項目	1	3.4%
2項目	2	6.9%
3項目	2	6.9%
4項目	1	3.4%
5項目	5	17.2%

図6 歯周病に関する問診項目がある病院の割合



## 5 合併症管理・重症化予防における歯科診療所との連携状況

質問5．糖尿病の合併症管理・重症化予防において、地域の歯科診療所 と連携していますか。  
 (1)どのように連携をしていますか。 (2)連携していない理由は何ですか。(複数回答可)

糖尿病の合併症管理・重症化予防において、地域の歯科診療所と連携している病院は 32 施設 (16.7%)、連携していない病院は 116 施設 (60.4%) であった。

連携の手段・方法は、「合併症管理として歯周病管理のための受診勧奨」が最も多く、次いで「診療情報提供書による情報提供・歯周病検査結果等把握」、「糖尿病健康手帳を活用した情報の共有化」、「電話やメール等による情報提供・歯周病検査結果等把握」の順であった。

連携していない理由は、「連携する必要性を感じていない」が最も多く、次いで「院内の歯科・口腔外科と連携している」、「どこの歯科診療所と連携すればよいかわからない」が多く、「歯周病が糖尿病の合併症であることを知らない」という回答も若干あった。「今後連携したい」、「連携の準備中」という回答も複数あった。

表8 歯科診療所との連携状況

	連携あり	連携なし	未記入	計
回答数	32	116	44	192
割合(%)	16.7%	60.4%	22.9%	100.0%

↓  
5 (1)      ↓  
5 (2)

図7 歯科診療所との連携状況

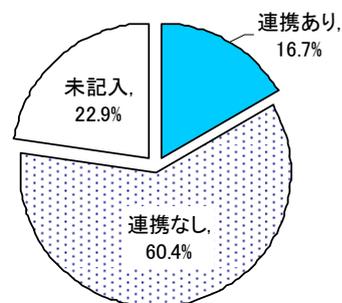


図8-1 連携の手段・方法 (複数回答あり)

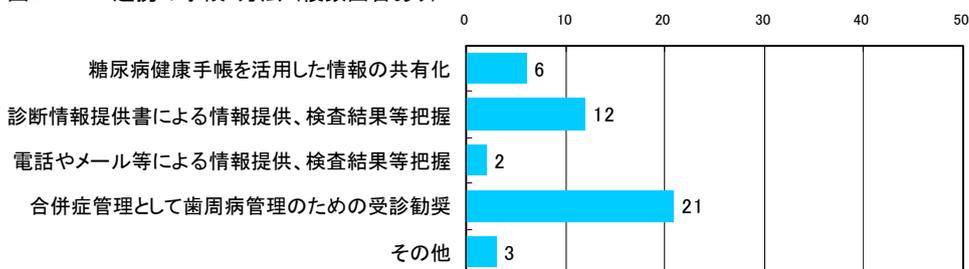
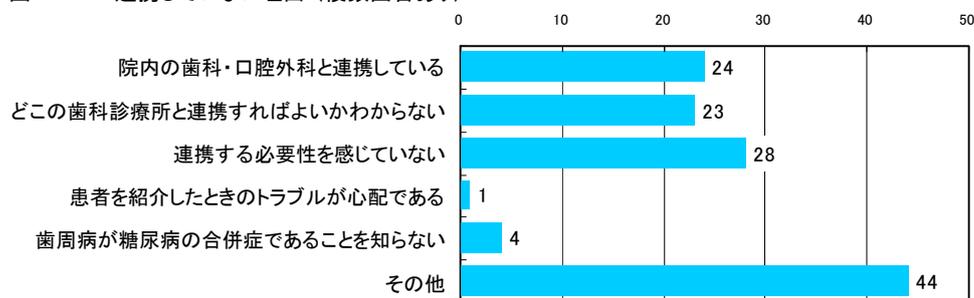


図8-2 連携していない理由 (複数回答あり)



<p>〔その他〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後連携したい、現在検討中(7)</li> <li>・関連病院の歯科と連携(6)</li> <li>・必要に応じて歯科医に紹介(6)</li> <li>・連携予定あり、現在準備中(3)</li> <li>・入院患者には歯科往診(3)</li> <li>・必要性は認識している(2)</li> <li>・糖尿病専門医が不足(2)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯が悪い入院患者は歯科受診</li> <li>・かかりつけ歯科に受診勧奨</li> <li>・重要視していなかった</li> <li>・口腔指導は保険算定外</li> <li>・症状を直接訴える患者のみ紹介</li> <li>・歯痛や入れ歯の範囲での連携のみ</li> <li>・患者の自由意思で受診先を決めている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2型糖尿病の教育入院・外来がない</li> <li>・対象患者が少ない</li> <li>・糖尿病の単独患者には対応しない</li> <li>・歯科からの要望がない</li> <li>・忙しくて余裕がない</li> </ul>
---	--	---